

放射線科

一般目標(GIO)

放射線科診療の概要を理解し、各種画像診断検査の適応、放射線治療の適応についての知識を深める。将来、各科の臨床医になった時、的確なオーダーが出来るようになる事が目標である。

経験目標(SBO)

1. 画像診断

- ① 各臓器、部位の CT 検査の目的や造影剤使用の意義や適応を説明できる。
- ② ヨード造影剤の有害事象、禁忌、その対処法について説明できる。
- ③ MRI 検査の禁忌および入室時注意について知っている。
- ④ MRI における各種造影剤について適応を理解している。
- ⑤ MRI 画像の種類について判断できる。
- ⑥ 各種アイソトープ検査の適応、使用薬剤について理解し、適切にオーダーできる。
- ⑦ 代表的な疾患について画像評価できる。
- ⑧ 放射線画像情報システム(PACS)の基本事項を理解し、そのシステムを使用し診断できる。

2. 放射線治療

- ① 放射線治療の目的と適応について理解できている。
- ② 放射線治療の手順について説明できる。
- ③ 放射線治療の有害事象について、早期障害、晩期障害を区別して説明できる。
- ④ 定位放射線治療の適応疾患と、その手順について理解している。

方略(LS)

1. オリエンテーション

- ① ローテート開始時には、指導医、コメディカルスタッフと面談し、プログラム説明、自己紹介等を行う。ローテート終了時には、評価表の記載とともに feed back を受ける。

2. 外来診察・検査

- ① 実際にオーダーされた症例の画像検査を観察し、画像報告書を作成する。その報告書を基に画像所見の取り方、考え方を議論する。
- ② 画像報告書の作成は、実際の読影端末を使用する。
- ③ 放射線治療の現場を見学し、放射線治療の実際の流れを経験する。
- ④ 放射線治療器の構造、放射線治療計画機の使用法などを体験する。
- ⑤ 放射線治療患者を実際に診察し、放射線治療に伴う急性期事象について体験する。
- ⑥ 放射線防護に関する説明を一通り受け、理解する。

3. カンファレンス等科の行事への参加

- ① 放射線診断カンファレンス
毎日 16:00～: 当日作成した画像報告書について発表し、症例検討を行う。
- ② 放射線治療カンファレンス
作成した放射線治療の照射野について照合する。

4. 自習

- ① 急性腹症の CT
- ② 放射線治療計画ガイドライン

評価(EV)

1. 評価は、観察記録とし、研修医および指導医が1か月毎に行う。
2. プロフェッショナリズム、資質・能力についてはプログラム全体の評価の該当する項目で評価する。
3. 放射線科独自の目標に関しては専用の用紙を用いて評価を行う。

放射線科スケジュール

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
月	← CT →				← RTP →				← 読影 →	
火	← 外来 →				← 外来 →				← 読影 →	
水	← MRI →				← CT →				← 読影 →	
木	← CT →				← RI →				← 読影 →	
金	← RI →				← CT →				← 読影 →	